

ボランティア活動報告書の手引き (活動関係者用)



夢・ふれあい社会



公益財団法人
さわやか福祉財団

「学生の地域活動研究会」委員の紹介

学生の地域活動研究会において「ボランティア活動報告書」及び「総括ボランティア報告書」に関し学術的、実務的な立場からご助言をいただいた委員の方々をご紹介します。

委員一覧

昭和女子大学総合教育センター特任教授 日本ボランティア学習協会代表	こうろき ひろし 興梠 寛 氏
「エクセレントNPO」をめざそう市民会議共同代表 一般社団法人TAKUMI-Art du Japon 理事	しまだ きょうこ 島田 京子 氏
元 文教大学教育学部教授	しまの みちひろ 嶋野 道弘 氏
日本女子大学人間社会学部教育学科教授	たなか まさふみ 田中 雅文 氏
國學院大學人間開発学部初等教育学科教授	たむら まなぶ 田村 学 氏
公益財団法人学習情報研究センター理事長	つじむら てつお 辻村 哲夫 氏
学習院大学文学部教育学科教授 日本ボランティア学習協会理事	ながぬま ゆたか 長沼 豊 氏
上智大学総合人間科学部教育学科教授	なす まさひろ 奈須 正裕 氏
公益財団法人さわやか福祉財団会長 学生の地域活動研究会司会・進行役	ほった つとむ 堀田 力
公益財団法人さわやか福祉財団理事長	しみず けいこ 清水 肇子

活動関係者のみなさんへ

当財団では、高校生・大学生の一人ひとりが主体的に自らの強みとなる特性を育てることにより、充実感に満ちた人生を送ってほしいと願っています。そのためには、地域等のボランティア活動に積極的に参加し、社会課題を理解し、関係者とも協働してその解決のために努力する体験をすることで、社会に有用な自己の特性を確認し、それを伸ばしていくことが大切になります。その際に、当財団が開発した「ボランティア活動報告書」への活動記録と振り返りが大いに役立つと考えています。

この「ボランティア活動報告書」を総括して記載した「総括ボランティア活動報告書」は、高校生や大学生が大学入試や就職活動の際に自己の特性を具体的に、進学・就職希望先へ伝え、それを活かしてくれる進学先への合格や、就職先の採用に役立つと共に、将来的に自分の特性が活きる職場への配属へとつなげていくための資料として活用されることを想定しています。

地域のボランティア活動に関係する皆様が、地域の未来を担う若者が取り組む

「ボランティア活動報告書」に関わる活動に協働して頂けることを心よりお願い申し上げます。

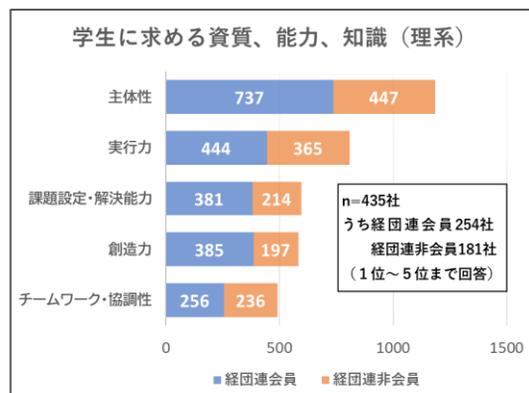
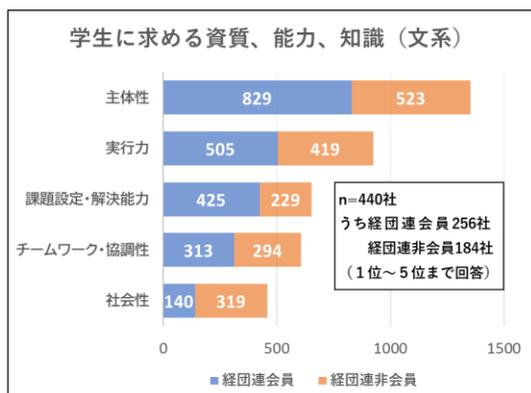


さわやか福祉財団
会長 堀田 力

これからの社会に求められる力とは

2018年度に一般社団法人日本経済団体連合会が示した「高等教育に関するアンケート結果」から、企業は学生に「自らの問題意識に基づき課題を設定し、主体的に解を作り出す能力」を求めていることが分かりました。

具体的には「主体性」、「実行力」、「課題設定・解決能力」、「チームワーク・協調性」の項目が重視されています。当財団ではこれを受け、これからの持続可能な日本社会を支える人材に必要な力を「自発性・主体性」、「実行力・責任感」、「課題解決・創造力」、「チームワーク・協調性」、「リーダーシップ」の5つの特性に分類し、この特性を効果的に育む場としてボランティア活動を推奨しています。



* 回答企業に上位5つの選択肢を選んでもらい、点数による重み付け（1位=5点、2位=4点、3位=3点、4位=2点、5位=1点）を行ったもの。全20項目の中からトップ5を抽出。

【2018年4月17日 一般社団法人日本経済団体連合会『「高等教育に関するアンケート」主要結果』から編集】

「ボランティア活動報告書」作成上の留意点①

1 ボランティア活動開始前に確認する部分

- ① 「ボランティア活動報告書」は、高校生・大学生本人が行ったボランティア活動について、本人及び活動関係者（本人と直接関わったボランティア活動の受益者またはボランティア活動を現地で統率する人）が活動の結果を記録するものです。
- ② 開始前に本人が提示するボランティア活動報告書を確認し、活動終了後「活動関係者が感じた特性」欄と「活動関係者記入欄」に記入することを了承頂いた際は、その旨本人に告げてください。

2 ボランティア活動中に確認する部分

高校生・大学生本人の活動中の様子を適宜見守っていただきます。その際には、あたたかな目で、この若者にどのような特性（長所）があるのかを見ていただけると幸いです。

3 ボランティア活動の終了期等に確認する部分

- ① 本人の活動ぶりを見た結果、「ボランティア活動報告書」の「活動関係者が感じた特性」欄へ、感知した特性にマーク（○印等）をつけてください。つけられるマークの数に限りはありません。
- ② ボランティア活動報告書の「活動関係者が感じた特性」欄へ活動で育った特性をマークする際に、もしその特性の意義を詳しく確認したい時は、以下の【「5つの特性」の具体的な姿例】を参考にしてください。

【「5つの特性」の具体的な姿例】

【情動的・意欲的な面の特性】	
「① 自発性・主体性」	<ul style="list-style-type: none">・自分の長所や短所を把握して、良いところを活かして活動に取り組もうとしている。・不得意なことでも、自ら進んで取り組もうとする。
「② 実行力・責任感」	<ul style="list-style-type: none">・自分がすべきことがある時に、喜怒哀楽の感情に流されず行動を適切に律し、遂行している。・困難な状況にも根気よく向かい、試行錯誤をしながら活動に取り組もうとしている。
【対人関係的・社会的な面の特性】	
「③ チームワーク・協調性」	<ul style="list-style-type: none">・ボランティア活動に関わる人々の意見を聞くとき、相手の立場を考慮して、その人の考えや気持ちを受け止めようとしている。・人と何かをするとき、自分がどのような役割や仕事を果たすべきか考え、分担しながら、力を合わせて行動しようとしている。
「④ リーダーシップ」	<ul style="list-style-type: none">・自分の考えや気持ちを整理し、相手が理解しやすいよう工夫して、伝えようとしている。
【認知的・課題解決的な面の特性】	
「⑤課題解決・創造力」	<ul style="list-style-type: none">・調べたいことがある時、自ら進んで資料や情報を収集し、信ぴょう性が高く、かつ、必要な情報を取捨選択しながら活用できる。・何か問題が起こった時、次に同じような問題が起こらないようにするために、原因を調べ、課題を発見し、解決のための工夫ができる。・何かをする時、見通しをもって計画し、適宜提案を行い、評価・改善を加えながら行動ができる。

文部科学省：「キャリア・パスポート」例示資料等を参考に作成

「ボランティア活動報告書」作成上の留意点②

- ③ なお、5つの特性のほかに高校生・大学生本人が特性を自由記入できる欄があります。その欄に記載があった場合、その特性が認められると感じた時には、○をつけてください。
- ④ 「活動に対するコメント」欄には、活動関係者が活動を通じて高校生・大学生本人を見た結果、素晴らしいと感じた点、今後伸ばしてほしいと感じた点などのコメントを自由記述で書いてください。
- ⑤ 「記入された方のお立場」欄には、「活動に対するコメント」欄等に記入された方が、団体又は活動においてどのようなお立場にあるかを記入してください。（被災者、ボランティア活動の現地統率者など）
- ⑥ 「ボランティア活動報告書」は記入後、高校生・大学生本人の手元に戻してください。

「総括ボランティア活動報告書」について

- ① 「総括ボランティア活動報告書」には、高校生や大学生が作成時までにを行ったボランティア活動について、個々の「ボランティア活動報告書」を基に、その結果を自身で記入し、まとめます。その際に、「活動に対するコメント」が引用される場合があります。
 - ② この総括報告書は、学生等が「進学を希望する大学」や「就職を希望する企業」などに提出します。
- ※ 活動関係者のみなさまが作成に関わるのは、「ボランティア活動報告書」のみとなります。

ボランティア活動報告書

本人記入欄	氏名			
	活動内容	活動期間	～	活動地域
		(活動分野：)		
	活動の動機・目的			
活動から得たもの				
活動で育った特性		本人が育ったと感じた特性	活動関係者が感じた特性	
自分から進んで取り組んでいる (自発性・主体性)				
最後までやり抜く (実行力・責任感)				
人と協調しながら取り組んでいる (チームワーク・協調性)				
チームをリードして取り組んでいる (リーダーシップ)				
工夫して、全体の作業を改善している (課題解決・創造力)				
(本人が特性を自由記入)				
活動関係者記入欄	活動に対するコメント (素晴らしいと感じた点、今後伸ばしてほしいと感じた点 など)			
	記入された方のお名前			
	記入された方のお立場			
	記入日	年	月	日

ボランティア活動報告書 【記入要領】

① 本人が記入する

本人記入欄	氏名			
	活動内容	活動期間	～	活動地域 (都道府県名・市区町村名)
		<p>・活動期間は、評価を記入する活動関係者（本人と直接関わったボランティア活動の受益者またはボランティア活動を現地で統率する人）がボランティア活動を見守った期間とする。</p> <p>通常は1日から1週間程度の期間が想定されるが、長期（1か月以上）の活動期間になる場合は、1か月ごとに区切って報告書を作成し、記録と振り返りを適宜行う。</p>		
	<p>【活動分野の例】</p> <p>子どものサポート・学習支援、高齢者のサポート、障害者のサポート、外国人のサポート、被災者のサポート、施設・病院ボランティア、各種スポーツ指導、観光案内、異文化交流、人権擁護・ジェンダー、まちづくり、防犯・交通安全、伝統文化の継承、動物の保護、環境保護、清掃活動、農林水産業振興、政策提言、その他</p> <p>(活動分野：)</p>			
活動の動機・目的	<p>・なぜこの活動に参加しようと思ったのかという理由と、自分がこの活動をとおして活かしたい、育てたい特性や獲得したいものを記入する。</p>			
活動から得たもの	<p>・活動の経験をとおして、何に気づいたか、どこが成長したかを記入する。</p> <p>・可能であれば、活動の経験を今後どのように活かすかを記入する。</p>			

② 本人と活動関係者がそれぞれ記入する

活動で育った特性	本人が育ったと感じた特性	活動関係者が感じた特性
自分から進んで取り組んでいる (自発性・主体性)		
最後までやり抜く (実行力・責任感)		
人と協調しながら取り組んでいる (チームワーク・協調性)		
チームをリードして取り組んでいる (リーダーシップ)		
工夫して、全体の作業を改善している (課題解決・創造力)		

該当する特性にマーク（○印等。紙媒体の場合は署名や印鑑でもよい）を付ける

(本人が特性を自由記入) ← 上記の特性以外で育った特筆すべき特性がある場合に記入 (例：伝える力、観察力、体力、専門的な知識・技能、等)

③ 活動関係者が記入する

活動関係者記入欄	活動に対するコメント	<p>(素晴らしいと感じた点、今後伸ばしてほしいと感じた点 など)</p> <p>・活動関係者が活動を通じて学生を見た結果、素晴らしいと感じた点、今後伸ばしてほしいと感じた点などのコメントを自由記述する。</p>
	記入された方のお名前	印
	記入された方のお立場	<p>・記入者が団体又は活動においてどのようなお立場にあるかを記入する (被災者、ボランティア活動の現地統率者など)</p>
	記入日	年 月 日

様

学校名

氏名

総括ボランティア活動報告書

累計活動報告書数	件	累計活動報告書期間	～
多い活動分野	①		(件)
	②		(件)
	③		(件)
特 性	活動関係者が マークした特性	<p>自発性・実行力・チーム リーダー 課題 主体性 責任感 ワーク・ シップ 解決・ 協調性 創造力</p>	
自発性・主体性	件		
実行力・責任感	件		
チームワーク・協調性	件		
リーダーシップ	件		
課題解決・創造力	件		
	件		
本人のコメント			
〔活動で成長したと 思う特性など〕			
活動関係者の 主なコメント			

学校名

氏名 学生本人の氏名を記入する

総括ボランティア活動報告書 【記入要領】

<p>累計活動報告書数</p>	<p>参加した活動（地域、プロジェクト、団体等）の「ボランティア活動報告書」の合計数を記入する。</p>	<p>累計活動報告書期間</p>	<p>すべての報告書に関わった期間を記入する。【例】令和3年6月1日～令和5年2月6日</p>														
<p>関わった活動分野の上位3位の件数を①～③に記入する。 （活動分野は下記例示を参照）</p> <p>【活動分野の例】 子どものサポート・学習支援、高齢者のサポート、障害者のサポート、外国人のサポート、被災者のサポート、施設・病院ボランティア、各種スポーツ指導、観光案内、異文化交流、人権擁護・ジェンダー、まちづくり、防犯・交通安全、伝統文化の継承、動物の保護、環境保護、清掃活動、農林水産業振興、政策提言、その他</p>																	
<p>特 性</p>	<p>活動関係者がマークした特性</p>	<table border="1"> <caption>棒グラフの数値</caption> <thead> <tr> <th>特性</th> <th>件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>自発性・主体性</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>実行力・責任感</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>チームワーク・協調性</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>リーダーシップ</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>課題解決・創造力</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>(本人が特性を自由記入)</td> <td>3</td> </tr> </tbody> </table>		特性	件数	自発性・主体性	3	実行力・責任感	5	チームワーク・協調性	4	リーダーシップ	4	課題解決・創造力	2	(本人が特性を自由記入)	3
特性	件数																
自発性・主体性	3																
実行力・責任感	5																
チームワーク・協調性	4																
リーダーシップ	4																
課題解決・創造力	2																
(本人が特性を自由記入)	3																
<p>自発性・主体性</p>	<p>件</p>																
<p>実行力・責任感</p>	<p>件</p>																
<p>チームワーク・協調性</p>	<p>件</p>																
<p>リーダーシップ</p>	<p>件</p>																
<p>課題解決・創造力</p>	<p>件</p>																
<p>(本人が特性を自由記入)</p>	<p>件</p>																
<p>本人のコメント</p> <p>活動で成長したと思う特性など</p>	<p>「活動関係者がマークした特性」の累計数グラフを基に、活動で成長したと思う特性と、今後その特性をどのように活かすか具体的に記入する。</p>																
<p>活動関係者の主なコメント</p>	<p>「本人のコメント」を裏付ける内容を記載する。その際には過去の「ボランティア活動報告書」の「活動に対するコメント」欄から引用して記入する。</p>																

ボランティア活動報告書の手引き（活動関係者用）

令和3年 11月発行

編者 公益財団法人 さわやか福祉財団

「学生の地域活動研究会」協力・監修

発行所 公益財団法人 さわやか福祉財団

〒105-0011

東京都港区芝公園2-6-8 日本女子会館 7階

TEL: 03(5470)7751

FAX: 03(5470)7755

URL: <https://www.sawayakazaidan.or.jp/>